

# 概要版

第3期八潮市国民健康保険  
保健事業実施計画（データヘルス計画）

・

第4期八潮市特定健康診査等実施計画



令和6年3月

八 潮 市

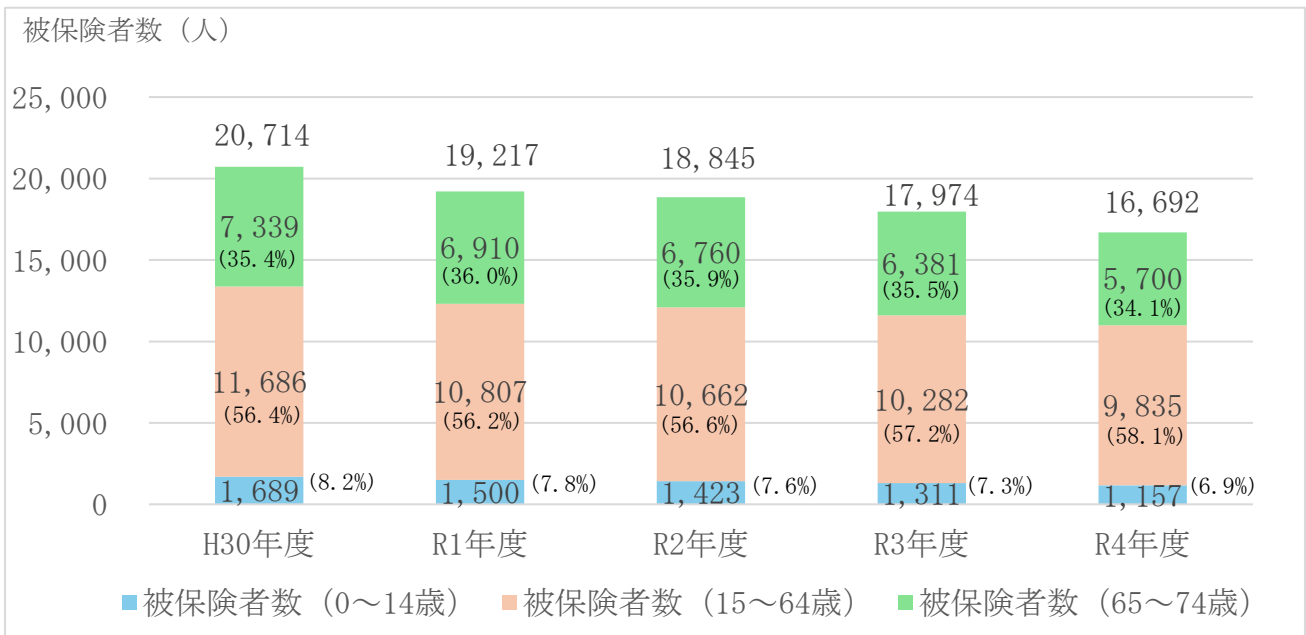
## 1 計画の概要

八潮市国民健康保険では、健康・医療情報を活用してP D C Aサイクルに沿った「第3期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」と、特定健康診査の実施方法などを定めた「第4期八潮市特定健康診査等実施計画」を一体的に策定しました。

計画では、健康・医療情報等の分析結果に基づく健康課題を抽出し、計画全体における目標、関連する個別保健事業を定め取り組みます。

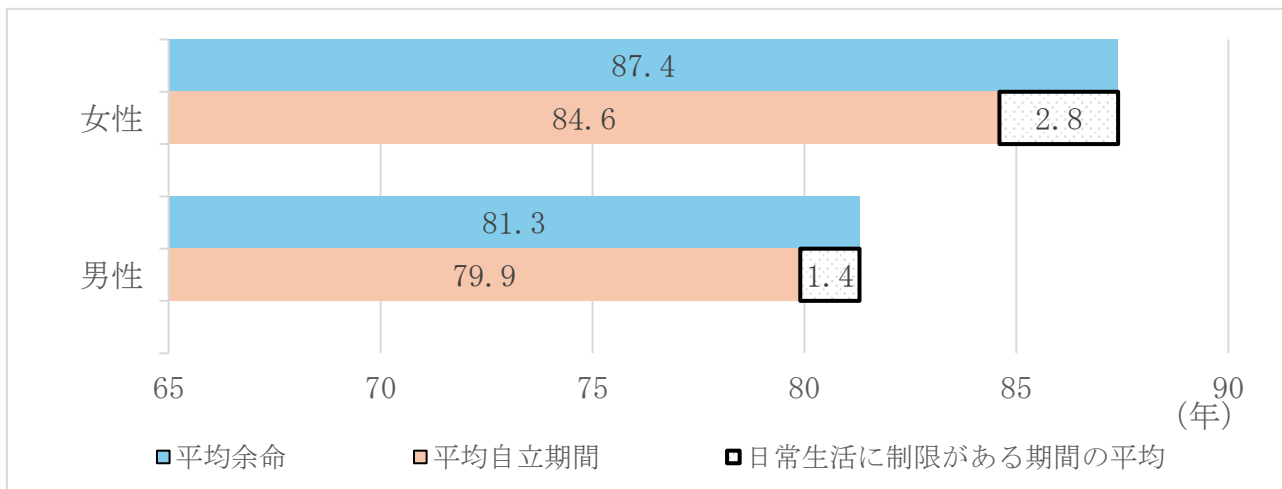
## 2 被保険者数の状況

被保険者数は減少しています。年齢階級（14歳以下、15～64歳、65歳以上）別の構成比はほぼ横ばいとなっています。



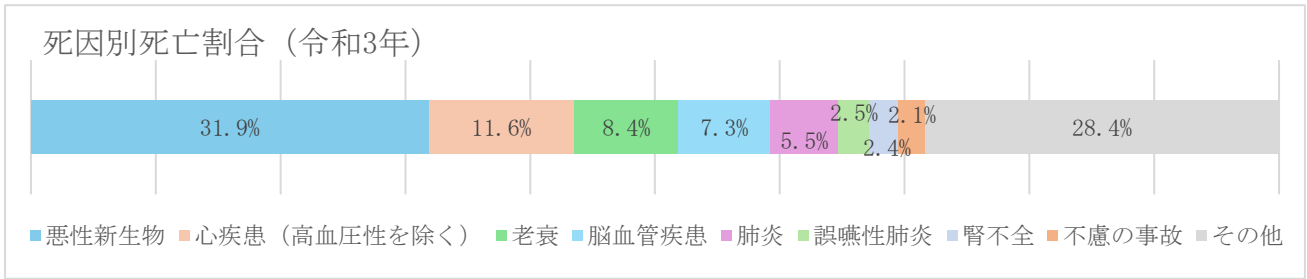
## 3 八潮市の平均寿命と健康寿命

平均寿命は、女性で87.4歳、男性で81.3歳となっています。また、健康寿命は、女性で84.6歳、男性で79.9歳となっています。（令和4年度）



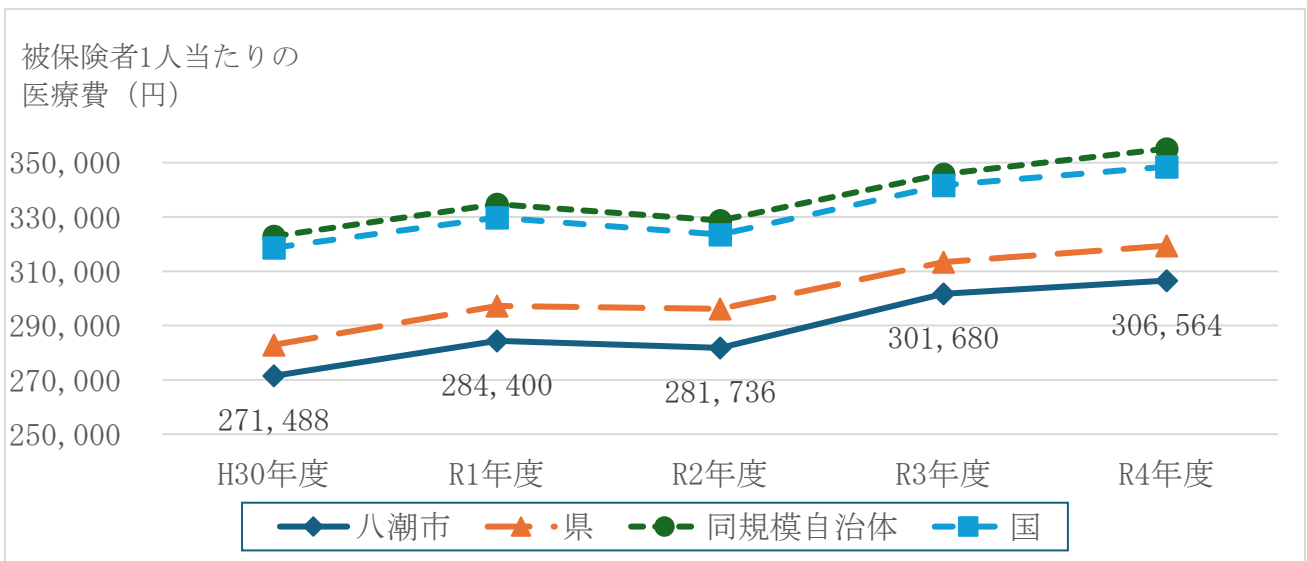
## 4 死因別死亡数

死因別死亡数の割合では、がん（悪性新生物）、心疾患、老衰の順で高く、これら3つの死因が全体の半数以上を占めています。



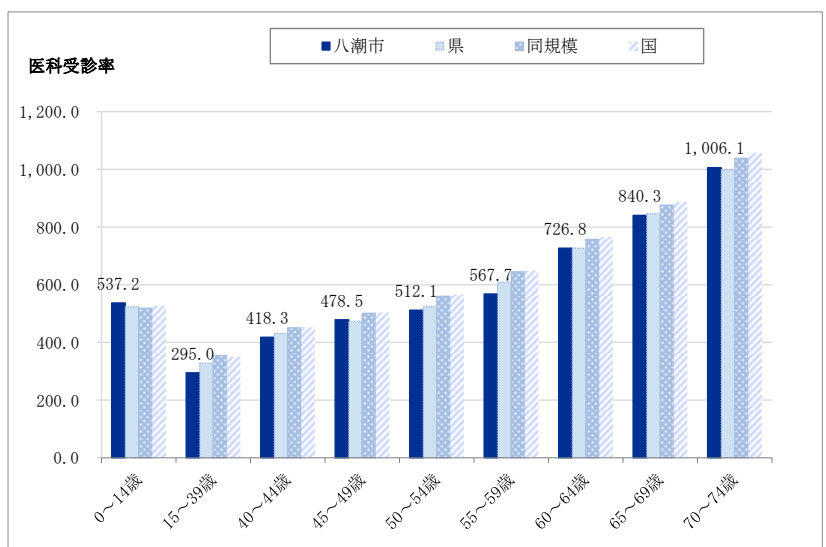
## 5 医療費の状況

被保険者1人当たりの医療費は、増加傾向にあります。



### 年代別医療費の状況

医科受診率は15～39歳で下がるものの、その後は、年齢が高くなるにつれ、医科受診率が高くなる傾向にあります。



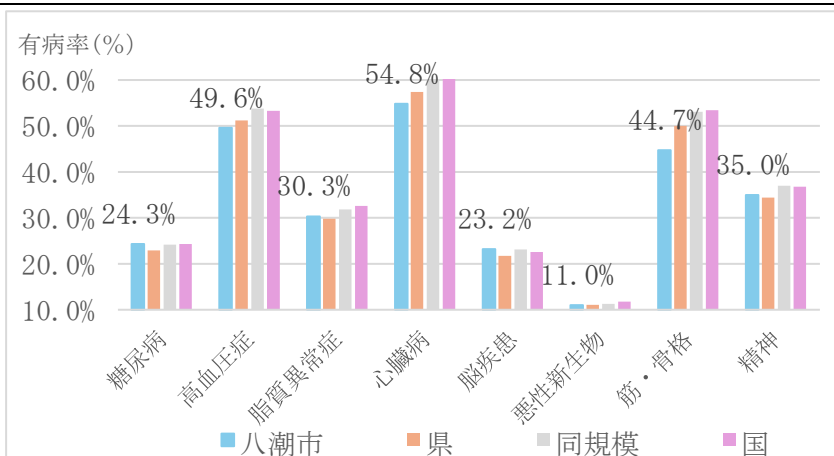
## 生活習慣病医療費の状況

糖尿病、高血圧性疾患、脂質異常症が医療費、有病率ともに上位を占めており、生活習慣病疾病別医療費の半数を占めています。

	医療費（令和4年度）		有病率（令和4年度）	
	疾病分類（中分類）	医療費（円）	疾病分類（中分類）	有病率（%）
1	糖尿病	273,496,157	高血圧性疾患	25.3
2	腎不全	266,319,007	糖尿病	25.1
3	高血圧性疾患	182,545,682	脂質異常症	19.7
4	脂質異常症	109,216,394	虚血性心疾患	6.9
5	虚血性心疾患	92,963,602	脳梗塞	4.5

## 要介護（支援）認定者の疾病別有病率の状況

令和4年度の要介護（支援）認定者の疾病別有病率は、心臓病が最も高く54.8%、次いで高血圧症が49.6%、筋・骨格が44.7%となっています。

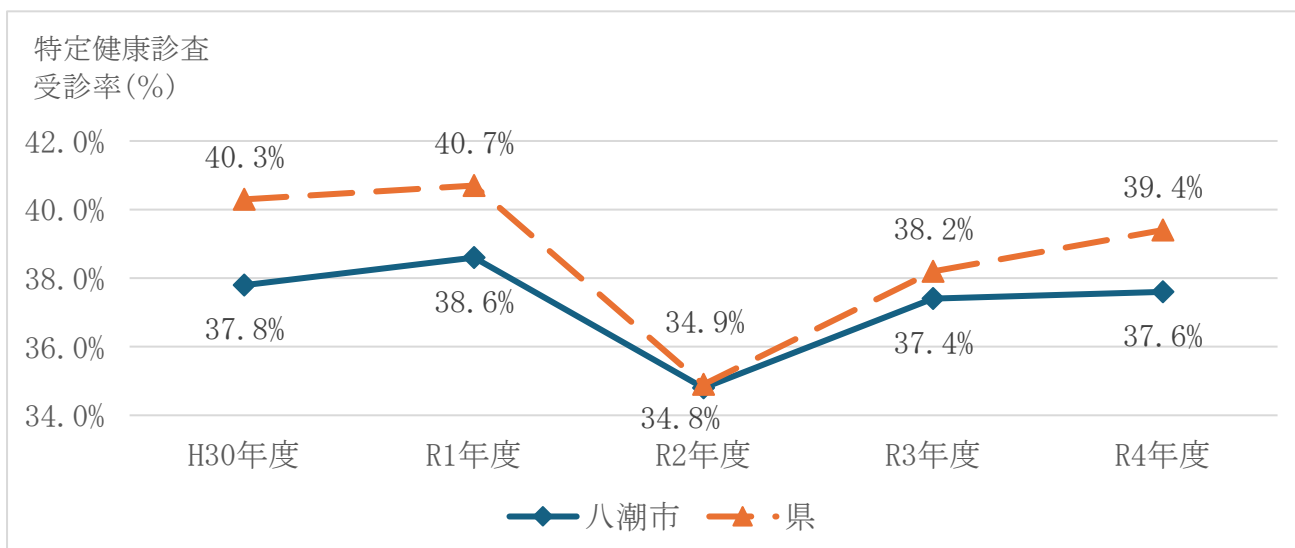


## 6 特定健康診査

特定健康診査とは、生活習慣病予防のため、40歳から74歳の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診です。

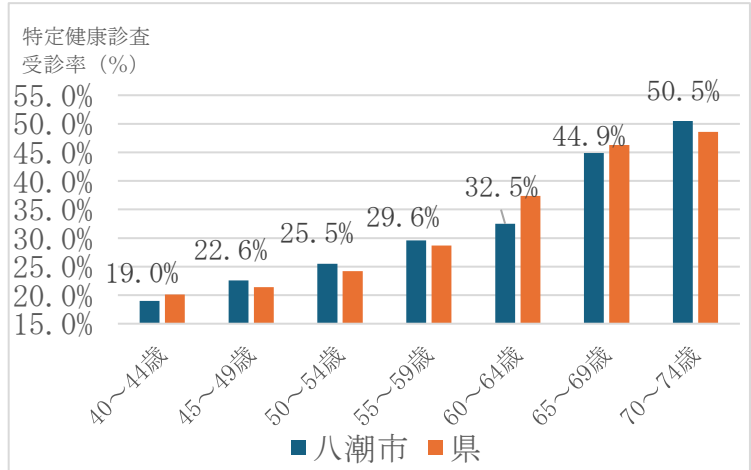
### 特定健康診査の実施状況

受診率は増加傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で下がりました。令和3年度以降は回復傾向にあります。



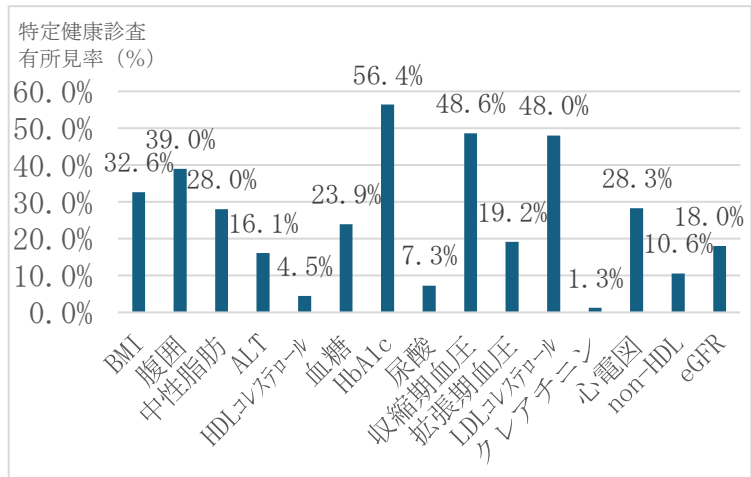
## 特定健康診査受診率

特定健康診査の受診率は、40歳代、50歳代は低いのですが、年齢が高くなるにつれ、受診率も高くなる傾向にあります。



## 特定健康診査有所見率

令和4年度の特定健康診査の有所見率は右図のとおりです。HbA1c、収縮期血圧、LDLコレステロール（悪玉コレステロール）の順に高くなっています。

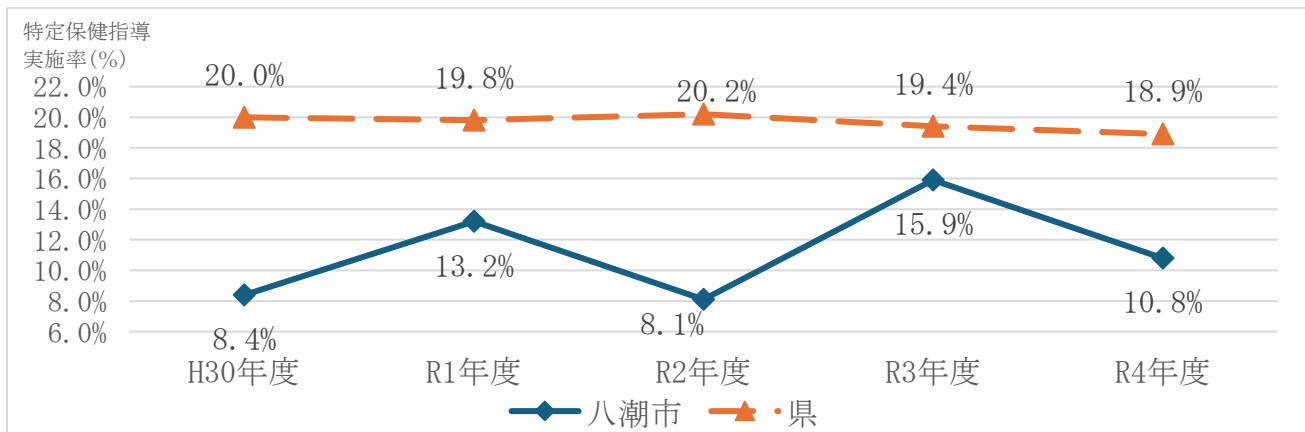


## 7 特定保健指導

特定保健指導とは、特定健康診査の結果により、BMI、腹囲、血圧、血糖、脂質、喫煙などの項目で、メタボリックシンドロームのリスクが高い方に対し、保健師・管理栄養士などの専門職が生活習慣の見直しや改善をお手伝いするプログラムです。

### 特定保健指導の実施状況

特定保健指導の実施率については、10%前後を推移しています。また、長期間にわたる取り組みとなるため、対象者が利用しやすい環境を整える必要があります。



## 8 課題と取組及び目標

### (1) 健康寿命の延伸

背景 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年における、65歳時点の平均余命と健康寿命（平均自立期間）において、男性の平均余命は19.2年、平均自立期間は17.5年です。日常生活に制限がある期間の平均は1.7年で、県と横ばいです。</li> <li>女性の平均余命は24.3年、平均自立期間は20.8年です。日常生活に制限がある期間の平均は3.5年で、県の3.6年よりも短い傾向にあります。</li> </ul>							
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康、医療、介護部門で連携した、効果的かつ効率的な保健事業を展開し、被保険者の健康増進を図ります。</li> </ul>							
目標	目標値設定の項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
	65歳健康寿命※	男	18.3年	18.4年	18.5年	18.7年	18.8年	18.9年
		女	21.1年	21.2年	21.3年	21.4年	21.5年	21.6年

※ 65歳の時点で、あと何年、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間があるかを指す指標です。

### (2) 特定健康診査・特定保健指導の実施

背景 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査では、特に40歳代から50歳代の受診率が低くなっています。また、特定保健指導では、終了者の多くに効果が出ていますが実施率が低くなっています。</li> <li>糖尿病、高血圧性疾患、脂質異常症が医療費、有病率ともに上位を占めており、本事業を推進し、医療費抑制を図る必要があります。</li> </ul>						
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査未受診者に対し、電話やはがきによる受診勧奨を実施します。</li> <li>特定保健指導未利用者に対し、電話やはがきによる利用勧奨を実施します。</li> <li>広報、ポスター、ホームページ等で周知に努めます。</li> </ul>						
目標	目標値設定の項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	特定健康診査受診率	46%	49%	52%	55%	58%	60%
	特定保健指導実施率	30%	35%	40%	50%	55%	60%
	生活習慣病1人あたり医療費	93,700円	91,000円	88,200円	85,500円	82,800円	80,000円

### (3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業

背景 ・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工透析にかかる医療費は高額であり、人工透析への移行を予防するため、糖尿病の重症化を予防する必要があります。</li> </ul>						
対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査の結果より糖尿病が疑われる者、糖尿病性腎症で通院歴があるが中断していると思われる者に対し、医療機関の受診を勧奨します。</li> <li>糖尿病性腎症の病期が第2～4期の者に対し、保健指導※を実施します。</li> <li>保健指導を修了した者に対し、最長4年間、支援を継続します。</li> </ul>						
目標	目標値設定の項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	高血糖（HbA1c6.5%以上）者の割合	10.5%	10.5%	10.4%	10.3%	10.2%	10.1%

※ 糖尿病性腎症の進行を予防することを目的に、専門職より食事や運動について指導、助言を行います。

(4) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進

背景・課題	・1人当たりの医療費が増加しており、医療費の多くを占める薬剤費の伸びを抑制するため、後発医薬品の利用を促進する必要があります。						
対応策	・毎年4月、10月に後発医薬品利用差額通知書を発送し、後発医薬品に切り替えると医療費の負担が軽減されることを訴求します。						
目標	目標値設定の項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	後発医薬品の数量シェア	80%	80%	80%	80%	80%	80%

(5) 適正服薬・適正受診の促進

背景・課題	・1人当たりの医療費が増加しており、薬剤の副作用の予防と医療費の適正化を推進する観点から、適正服薬及び適正受診を促進する必要があります。						
対応策	・対象者に服薬、受診状況の改善を促す通知を発送します。						
目標	目標値設定の項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	重複服薬者数（被保険者1万人当たり）	65人	62人	59人	56人	53人	50人
	重複受診者数（被保険者1万人当たり）	550人	540人	530人	520人	510人	500人

(6) 地域包括ケア及び高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取組み

背景・課題	・健康寿命の延伸をめざし、高齢者の生活習慣病予防や重症化予防のための保健事業とフレイル状態に陥らないための介護予防を一体的に実施する必要があります。						
対応策	・健康、医療、介護部門で連携し、高齢者の健康保持・増進を図ります。 ・健康状態不明、又は、血糖、血圧、脂質いずれか1つ以上が基準値を超えている前期高齢者に、医療機関への受診勧奨通知を送付します。						
目標	目標値設定の項目	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	受診勧奨通知発送者のうち医療機関を受診した者の割合	15%	15%	15%	15%	15%	15%

**9 個別の保健事業及びデータヘルス計画（保健事業全体）の評価・見直し**

本計画は、令和6年度から令和11年度までの6年を一期とします。令和8年度には中間評価を実施します。

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）					
第4期特定健康診査等実施計画					
		中間評価			評価見直し



編集：八潮市役所国保年金課

〒340-8588 八潮市中央一丁目2番地1

TEL：048-996-2111（代）

FAX：048-997-5300

E-mail：kokuhonenkin@city.yashio.lg.jp